

『かんたんデジタル掲示板』説明書

目次

1.	はじめに	2
(1)	概要	2
(2)	動作環境	2
(3)	インストール／アンインストール	2
(4)	ライセンスキー	4
(5)	ライセンス購入先	4
2.	用語の定義	5
(1)	天気予報の地域、区域について	5
(2)	テロップ速度	5
3.	【作成指示】シート	6
(1)	府県予報区などの設定	6
(2)	テロップ速度（秒）	8
(3)	画面表示シート名、スライド表示時間およびテロップ内容	8
(4)	[スライド作成指示]ボタン	8
4.	画面表示用シートの作成・設定	9
(1)	【原紙】シート	9
(2)	「ユーザー作成シート」	10
(3)	【天気予報】シートおよび【週間天気予報】シート	10
(4)	[PDF 化ファイル名選択]ボタンの操作	10
5.	バッチファイルおよび BGM 定時再生	12
(1)	バッチファイル	12
(2)	BGM 定時再生	12
6.	その他	13
7.	使用上の条件	14
8.	連絡先	14

1. はじめに

(1) 概要

『かんたんデジタル掲示板』(以下、本システムといいます)は、小規模な集会施設などで、施設案内やお知らせを簡単に作成し、それを有線または無線で接続したテレビなどの外部ディスプレイ装置に表示できるよう Visual Studio で開発したものです。

Excel の入力操作だけで PowerPoint スライドを作成し、そのスライドショーをアスペクト比が 16:9 の画面に表示させます。

(2) 動作環境

動作 OS は Windows10 または Windows11 であり、Excel2013 で動作確認済みです。

Excel 以外の必須ソフトは PowerPoint です。

ライセンス購入版では、使用する機能により下記がさらに必要となります。

✓ **Microsoft Word** : 4. (4) に示す [PDF 化ファイル名選択] で Word を対象とする場合

✓ **Node.js** : 6. (2) に示す BGM 定時再生機能を利用する場合

Microsoft Office のバージョンは 2013 以降でも動作可能と思いますが、未検証のため動作保証はできかねますので、ご了承ください。

(3) インストール／アンインストール

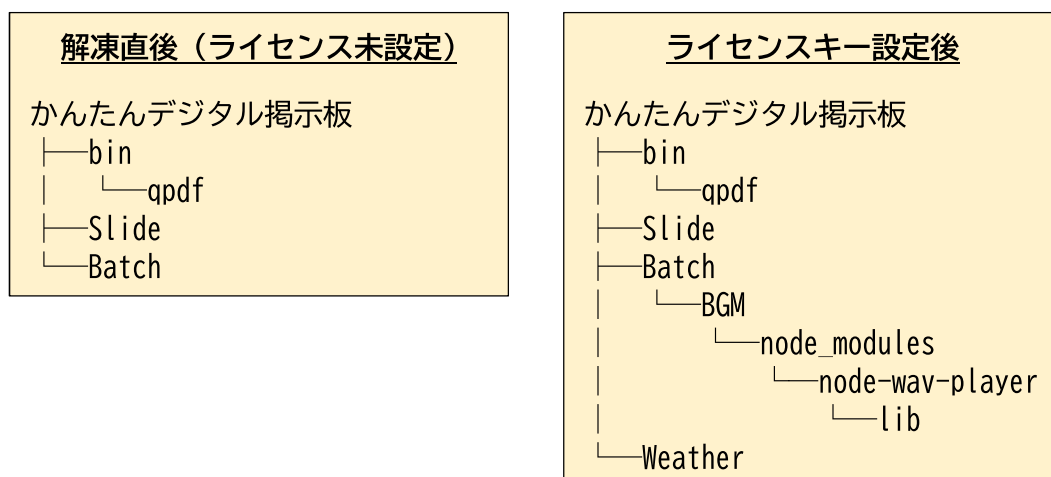
➤ インストール

”SimpleDigitalSignage.zip” を適切な場所に解凍 (展開) してください。

解凍後の ”かんたんデジタル掲示板” フォルダ内の ”かんたんデジタル掲示板.xlsx” が本システムの本体となる Excel ブックです。

なお、上記フォルダ直下に 2 つのパスワード付き圧縮ファイル (Weather.zip、Batch.zip) があります。このパスワードは、ライセンスを購入すると入手できる ライセンスキー と同じです。ライセンスを購入された方は、これら 2 つを ”かんたんデジタル掲示板” フォルダ直下に解凍 (フリーソフトの 7-Zip 使用をお勧めします) してください。

解凍直後 (ライセンスキー未設定) とライセンスキー設定後のフォルダ構成を、それぞれ左下図および右下図に示します。

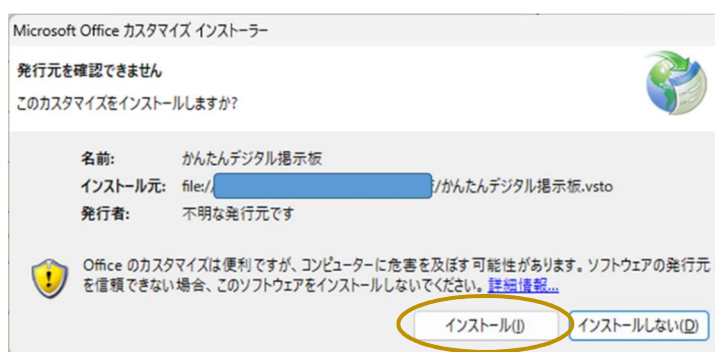


各フォルダー内の主なファイルは下記（一部省略）となります。この中で、ページでハッチングしているファイルが、本書で説明する主要なファイルです。また、赤字で示したフォルダーとファイルはライセンスキー設定後に作成されるものです。

フォルダー名	ファイル名	説明
かんたんデジタル 掲示板	かんたんデジタル掲示板.xlsx	本システム本体のExcelブック
	Weather.zip	圧縮ファイル
	Batch.zip	圧縮ファイル
bin qpdf	省略	本システムで使用するdll 他
Slide	SIGNAGE.pptx	本システムが作成するPowerPoint ファイル
Weather	省略	天気予報マークの画像ファイル
Batch	デジタル掲示板作成・表示.bat デジタル掲示板作成・表示.ps1 デジタル掲示板再表示.bat デジタル掲示板再表示.ps1 デジタル掲示板作成・表示(BGM).bat デジタル掲示板作成・表示(BGM).ps1 BGM 処理のカスタマイズについて.pdf	本システム用のバッチファイル PowerShell スクリプト
BGM	省略	BGM 再生用のファイル
node_modules node-wav-player lib	省略	BGM 再生に用いるNode.js のライブラリ
Data	省略	4. (4)の機能使用時に本システムが作成するフォルダーであり、pdf ファイルを格納する

最初の ”かんたんデジタル掲示板.xlsx” 起動時に、右図が表示された時は [インストール] をクリックしてください。

これは、Visual Studio で開発された VSTO（Visual Studio Tools for Office）と呼ばれるプログラムを、ユーザーのパソコンに安全に追加・設定するために表示される機能です。



➤ アンインストール

”SimpleDigitalSignage.zip” および ”かんたんデジタル掲示板”フォルダーをすべて削除してください。

(4) ライセンスキー

本システムは **Vector** (<https://www.vector.co.jp/>) に登録したシェアウェアであり、ライセンス未購入の状態では、下記機能（次ページ以降で詳細説明）を無効化しています。

- ✓ 天気予報関連データを取得および設定する機能
- ✓ 外部ファイルを取り込み、画像データとして作成する機能
- ✓ BGM などの WAV ファイルを再生する機能

ライセンスを購入しなくても試用できますが、実用とするため是非ライセンスをご購入いただき、以下の説明に示すライセンスキーを設定していただければと思います。

➤ ライセンスキーの設定方法

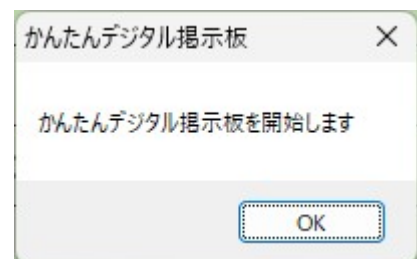
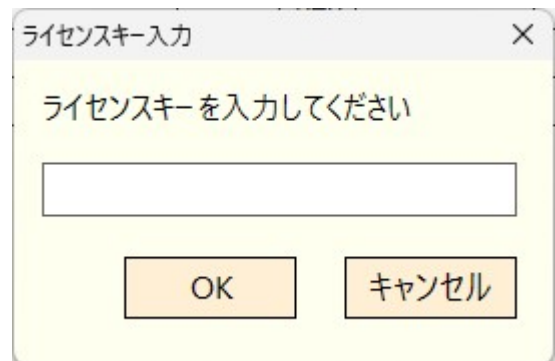
本システムを起動すると右図の画面が表示されます。

- ✓ ここでライセンスキーを入力し [OK] ボタンをクリックすると、本システムのすべての機能が使用できるようになります。
- ✓ ライセンスキー未入力または誤ったライセンスキー入力後に [OK] ボタンをクリックすると、再度ライセンスキー入力を促されます。
[キャンセル] ボタンをクリックすると右図の画面が表示されますので、この画面の [OK] ボタンをクリックしてください。

上記によるライセンス認証の有無にかかわらず、右図の画面が表示されますので [OK] ボタンをクリックしてください。システム開始となります。

➤ 2 台目以降の PC へのインストール

同じライセンスキーを使用してください。別途ライセンス購入の必要はありません。



(5) ライセンス購入先

本システムのご購入に関しては、Vector のダウンロードページに価格を含めた案内が表示されますので、“シェアウェアの送金について” をご覧いただき、シェアレジでのお支払い手続きをお願いします。

2. 用語の定義

(1) 天気予報の地域、区域について

気象庁は天気予報を下記のように説明しています。

「一般的に皆さんが天気予報と呼んでいるもので、正式には「府県天気予報」といいます。

「府県予報区」を地域ごとに細分した「一次細分区域」単位で、毎日 5 時、11 時、17 時に発表します。また、天気が急変したときには随時修正して発表します。発表内容は、今日・明日・明後日の天気と風と波、明日までの 6 時間ごとの降水確率と最高・最低気温の予想です。」

(気象庁 HP: <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kurashi/yoho.html> より)

本システムは、ライセンスキー設定後、気象庁が公開している「気象庁防災情報 XML フォーマット形式電文の公開 (PULL 型)」(<https://xml.kishou.go.jp/xmlpull.html>) からデータを取り込み、任意の地域の天気予報を表示させることができます。

※ 上記の XML フォーマットは、2026 年 6 月末時点における情報を前提としています。これが変更された場合は、エラーメッセージが表示され、以降で説明する天気予報関連の機能は無効となります。

天気予報の地域指定は、気象庁の定義に基づき下記を選択することとしています。

- 府県予報区
都道府県をベースにした地域であり、北海道地方や沖縄地方などは一つでなく、複数の府県予報区に分けてあります。
- 一次細分区域
府県天気予報を定常的に細分して行う区域です。気象特性、災害特性及び地理的特性により府県予報区を分割して設定されます。
- 二次細分区域
特別警報・危険警報・警報・注意報（河川氾濫に関するものを除く）の発表に用いる区域です。
- 予報地点（本システムでは「気温予報地点」と表記）
府県予報区内の气象台、測候所、アメダスの設置してある場所を指します。

(2) テロップ速度

本システムでは、文字列をディスプレイの右端から左端に流れるようにテロップ表示させることができます。

テロップ速度とは、テロップ内の任意の 1 つの文字（例：先頭の文字）が画面の右から現れ左に消えるまでの秒数です。

3. 【作成指示】シート

本システムの中心となるシートであり、スライド作成をコントロールします。

	A	B	C	D
1		スライド作成指示	← 下記の表を設定した後、このボタンをクリックしてください。	
2	天気予報用「府県予報区」などの設定		神奈川県, 東部, 横浜, 横浜, 横浜市	← このセルを右クリックすると府県予報区などを変更できます。
3	テロップ速度 (秒)		15	
4	No.	画面表示シート (選択)	スライド表示 時間 (秒)	テロップ (文字色が「白」でも見えるように下記セル色を「緑」にしています) (注) 「画面表示シート (選択)」欄で「天気予報」を選択している場合、気象庁発表の 注意報・警報があれば、そのデータ表示を優先し、対応する本報の入力は無視します。
5	1	本日の予定表	30	会議室予約、各種お問い合わせは事務室まで
6	2	天気予報	10	
7	3	本日の予定表	30	ごみの持ち帰りにご協力をお願いいたします
8	4	週間天気予報	15	
9	5	5週用	30	部屋の利用に際しては、 終了時刻の5分前まで に使用報告書に記入し部屋を空けてください
10	6			
11	7			
12	8			
13	9			
14	10			

(1) 府県予報区などの設定

ライセンスキー設定後に操作可能になります。

D2 セル上で右クリックすると、右図の画面が表示されます。

なお、D2 セルには、右図と次ページの図に示す「府県予報区」、「一時細分区域」、「気温予報地点」、「週間天気予報の気温予報地点」および「気象警報・注意報発表区域」を表示しています。このデータのままでよければ、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

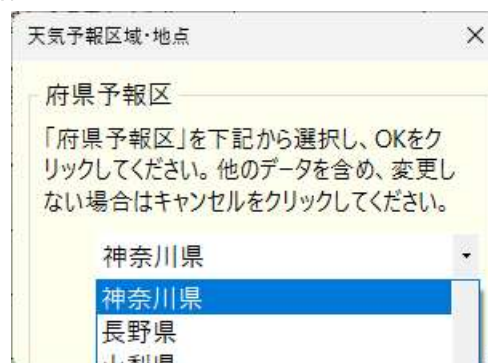
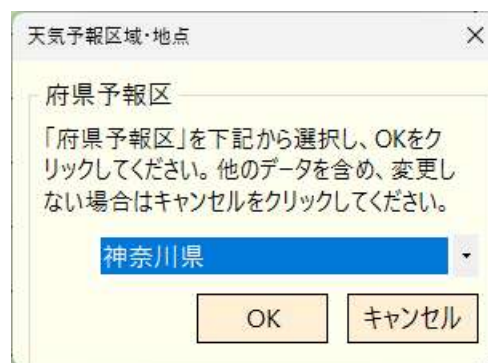
➤ 「府県予報区」選択

下記いずれかの操作で「府県予報区」を選択します。

- ✓ 「府県予報区」が表示されている場所でマウスホイールを使用
指定したい「府県予報区」が表示されるまでホイールを回してください。
- ✓ 「府県予報区」が表示されている場所または右側の▼を左クリック
右図が表示されますので、指定したい「府県予報区」をクリックし選択してください。

上記の後、下記いずれかのボタンをクリックしてください。

- ✓ [キャンセル]ボタン
選択操作をキャンセルします。
- ✓ [OK]ボタン
次ページの図に示す画面が表示されます。



天気予報区域・地点

府県予報区
府県予報区は下記です。

神奈川県

「天気予報発表区域」、「週間天気予報地点」および「気象警報・注意報発表区域」の順に設定してください。

天気予報発表区域
「府県予報区」をいくつかに分けて表示された「一次細分区域」を選択してください。次にその区域内の「気温予報地点」を選択してください。
なお、地点がひとつだけの場合は自動的に選択されます。

一次細分区域 東部

気温予報地点 横浜

週間天気予報地点
右上の「気温予報地点」に週間天気予報の気温データが設定されない場合があります。そのとき「気温予報地点」に近いと思われる地点を下記で選択してください。

週間天気予報の気温予報地点 横浜

気象警報・注意報発表区域
下記テキストボックスで指定した区域に気象警報や注意報の発表がある場合、テロップを表示します。
市町村（東京特別区は区）を原則とした二次細分区域を入力してください。
空白または該当する区域がない場合は一次細分区域の警報・注意報を表示します。

気象警報・注意報発表区域 横浜市

OK キャンセル

※ 上図でグレーアウトした文字の欄は、これ以前の選択項目の結果として該当項目がひとつになったことを示し、選択できません。

- ✓ 府県予報区
前ページの画面で選択した「府県予報区」を表示します。
- ✓ 一次細分区域
「府県予報区」内の「一次細分区域」です。複数ある場合は選択してください。
- ✓ 気温予報地点
「一次細分区域」内の「予報地点」です。複数ある場合は選択してください。
- ✓ 週間天気予報の気温予報地点
画面内の説明にある「予報地点」です。複数ある場合は選択してください。
- ✓ 気象警報・注意報発表区域
画面内の説明にある「二次細分区域」を入力してください。
ただし、ここで入力した区域が「一次細分区域」内の「二次細分区域」となっているかはチェックしていません（「府県予報区」が神奈川県であっても「那覇市」と入力できます）ので注意してください。空白のままでも構いません。
- ✓ [キャンセル]ボタン
設定をキャンセルします。
- ✓ [OK]ボタン
設定したデータを D2 セルに表示します。

(2) テロップ速度（秒）

D3 セルに 2.(2)で説明したテロップが流れる速度を入力します。このセルに入力しない(ブランク)場合は 20 秒としています。

(3) 画面表示シート名、スライド表示時間およびテロップ内容

【作成指示】シートの 5 行目から 14 行までにスライドを作成するシート名などを設定してください。

スライドは設定した行の順に作成され、その順番で表示をスライドショーとしてサイクリックに繰り返します。

➤ <画面表示シート（選択）>欄

この欄をクリックすると、4.画面表示用シートの作成・設定に示すシート名がリスト表示されます。スライドを作成し表示させたいシートを選択してください。

この欄をブランクとした場合、当然そのスライドは作成されませんが、テロップ文字を残しておき、後日シート名を指定してスライド作成させるような使い方もできます。

ライセンス未設定の場合は、この欄で【天気予報】および【週間天気予報】を指定してもそのスライドは作成されません。

➤ <スライド表示時間（秒）>欄

該当シートのスライドの表示時間を秒数で設定します。この表示時間（画面切り替え間隔）が短すぎると鬱陶しく感じられますので、少なくとも 10 秒以上が望ましいと思われます。

ただし、下記の <テロップ>欄に文字を入力した場合、本欄の秒数と下記で示すテロップ表示秒数を比較し、長い方の秒数で表示します。

➤ <テロップ>欄

お知らせなどの文字を入力してください。それがテロップとして表示されます。

文字列の全部または一部について、フォント名、スタイルおよび色も設定できます。ただし、文字サイズ、下線、文字飾り（取り消し線など）は設定してもテロップには反映されません。

※ ・テロップ位置（43 行～46 行）の背景色はテロップ文字色以外としてください。

・ライセンスキー設定後に <画面表示シート（選択）>欄で【天気予報】を選択している場合は、気象庁発表の気象警報・注意報があれば、そのデータ表示を優先し、対応する本欄の入力は無視します。

テロップは、必ず文字列の最後の文字が左端に達するまで表示されます。テロップ表示開始から終了までに要するテロップ表示秒数は、(2) テロップ速度（秒）で指定した速度と文字数から自動計算されます。

(4) [スライド作成指示]ボタン

上記 (1)～(3) を設定後、最後にこのボタンをクリックすると "SIGNAGE.pptx" という名前の PowerPoint ファイルが作成されます。

このファイルは、本システムがあるフォルダー内の "Slide" フォルダー（未作成の場合は、本システムが、このフォルダーを作成します）に格納されます。

4. 画面表示用シートの作成・設定

(1) 【原紙】シート

【原紙】シートは、スライド用のデータをデザインし作成するための原紙となるシートです。
下図にシートの構成を示します。



- スライド画面用表示領域（上図の四角内）
B2 セルから CC46 セルまでがスライド画面用の領域（キャンバス）です。
- [セル結合]ボタン、[結合解除]ボタン
スライド画面用表示領域内のセルを結合または解除するときに用いるボタンです。
シートの保護により上部のリボンが使用できないため、ボタンとして作成しました。
- [シートコピー]ボタン
表示中のシートをコピーしたい場合に、このボタンをクリックしてください。
この操作で作成されたシートが次ページの (2) で示す「ユーザー作成シート」になります。
- [シート削除]ボタン
表示中のシートを削除したい場合に、このボタンをクリックします。
ただし、【原紙】シートではこのボタンを無効にしています。「ユーザー作成シート」では有効になります。
- [PDF 化ファイル名選択]ボタン
ライセンスキー設定後に操作可能になります。
Word、Excel、PowerPoint および Pdf の外部ファイルをページ分割し、それを画像データとして取り込むことができます。操作方法は (4) [PDF 化ファイル名選択]ボタンの操作を参照してください。

(2) 「ユーザー作成シート」

3.(3)における <画面表示シート (選択)>欄の選択対象となるシートです。

下記のいずれも「ユーザー作成シート」になります。

- ✓ 【原紙】シートを [シートコピー] ボタンでコピーしたシート

- ✓ 作成済みの「ユーザー作成シート」を [シートコピー] ボタンでコピーしたシート

シート名は、わかりやすい名前に変更するとよいでしょう。

この「ユーザー作成シート」の画面上で Excel 機能を使用して表示したい画面を作成してください。

ちなみに、ダウンロード直後は、【本日の予定表】、【5 週用】および【6 週用】シートがあります。これらは「ユーザー作成シート」であり、シート名を変更した応用例です。

(3) 【天気予報】シートおよび【週間天気予報】シート

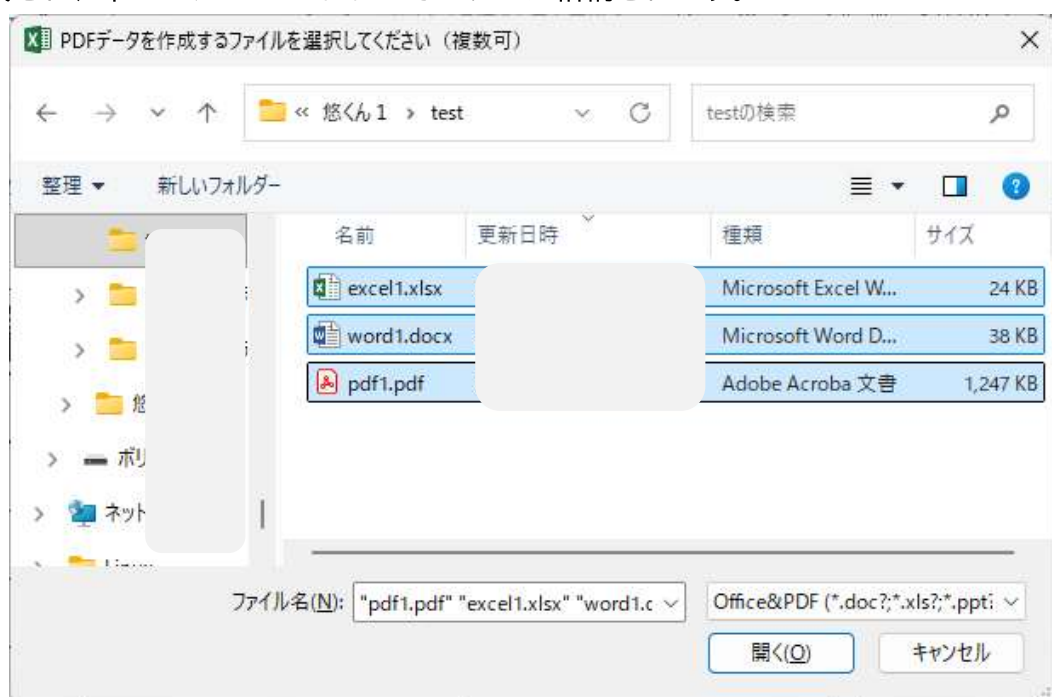
3.(3)における <画面表示シート (選択)>欄の選択対象となるシートです。ただし、ライセンスキー未設定の場合は、【天気予報】および【週間天気予報】を指定してもそのスライドは作成されません。

ライセンスキー設定後は、<画面表示シート (選択)>欄に、いずれか、または両方とも指定したうえで【作成指示】シートの [スライド作成指示] ボタンをクリックすると、その時点における気象庁の最新データをインターネット経由で取得し、【天気予報】シートおよび【週間天気予報】シートに反映します。

(4) [PDF 化ファイル名選択] ボタンの操作

➤ [PDF 化ファイル名選択] ボタンクリック後

下図のようなファイル選択画面が表示されます。作成したいデータのフォルダーに移動し、ファイルを選択 (Ctrl キーなどを併用し複数選択可) し、[開く (O)] ボタンをクリックしてください。すると指定したファイルのデータをページ分割した PDF ファイルが作成され、本システムの "Data" フォルダーに格納されます。



➤ シートの CE 列の表示

シートの CE 列に、上記で作成された PDF ファイル名が表示（下図の赤枠内）されます。

会議室予約状況 2026年5月18日(月)

階	部屋名	10:00~12:00	13:00~15:00	15:00~17:00
8 階	8-A	団体 A		
	8-B			
	8-C			
	8-D	サークル A		
9 階	9-A			
	9-B			
	9-C			研究会 X
	9-D			

excel1.xlsx (Page 1).pdf
word1.docx (Page 1).pdf
word1.docx (Page 2).pdf
word1.docx (Page 3).pdf
pdf1.pdf (Page 1).pdf
pdf1.pdf (Page 2).pdf
pdf1.pdf (Page 3).pdf
pdf1.pdf (Page 4).pdf
pdf1.pdf (Page 5).pdf
pdf1.pdf (Page 6).pdf
pdf1.pdf (Page 7).pdf
pdf1.pdf (Page 8).pdf
pdf1.pdf (Page 9).pdf
pdf1.pdf (Page 10).pdf
pdf1.pdf (Page 11).pdf
pdf1.pdf (Page 12).pdf
pdf1.pdf (Page 13).pdf
pdf1.pdf (Page 14).pdf
pdf1.pdf (Page 15).pdf
pdf1.pdf (Page 16).pdf
pdf1.pdf (Page 17).pdf

作成される PDF ファイル名は、下記としています。

”指定したファイル名（拡張子付き）” + ”(Page_n). pdf” (n はページ番号)

➤ PDF ファイル名をダブルクリック（使用したいものだけでよい）

CE 列に表示された PDF ファイル名をダブルクリックすると右図のように、PDF を図化したものが CE 列の右側に表示されます。

※ ダブルクリックしたファイル名は赤字で表示され、以降はダブルクリックできません。

➤ 図の編集

スライド画面用表示領域（B2 セル～CC46 セル）内の表示したい位置に、作成された図をドラッグ/拡大/縮小/回転などして配置してください。

excel1.xlsx (Page 1).pdf
word1.docx (Page 1).pdf
word1.docx (Page 2).pdf
word1.docx (Page 3).pdf
pdf1.pdf (Page 1).pdf
pdf1.pdf (Page 2).pdf
pdf1.pdf (Page 3).pdf
pdf1.pdf (Page 4).pdf
pdf1.pdf (Page 5).pdf
pdf1.pdf (Page 6).pdf
pdf1.pdf (Page 7).pdf
pdf1.pdf (Page 8).pdf
pdf1.pdf (Page 9).pdf
pdf1.pdf (Page 10).pdf
pdf1.pdf (Page 11).pdf
pdf1.pdf (Page 12).pdf
pdf1.pdf (Page 13).pdf
pdf1.pdf (Page 14).pdf
pdf1.pdf (Page 15).pdf
pdf1.pdf (Page 16).pdf
pdf1.pdf (Page 17).pdf

※ CE 列に PDF 名が表示されているシートで [PDF

化ファイル名選択]ボタンをクリックした場合は、表示がリセットされ、新たに指定したファイルを PDF 化したファイル名がセットされます。ただし、作成済みの図は削除されません。不要な場合は削除してください。

5. バッチファイルおよび BGM 定時再生

(1) バッチファイル

本システムで PowerPoint スライド作成後、そのファイルをスライドショーとして作成するまで、いくつかの手作業が発生します。

その作業を楽にし、できるだけ作業ミス発生を少なくするため、本システムの付録としてバッチファイル（ライセンス購入前は下記のうち先頭から 2 個、購入・設定後は 3 個目と "BGM" フォルダを追加）を作成し、"Batch" フォルダに格納してあります。

➤ "デジタル掲示板作成・表示.bat"

下記処理を自動化するバッチファイルです。

✓ 本システム本体（かんたんデジタル掲示板.xlsx）を起動

✓ 本システム使用后、本体ファイル保存の有無にかかわらず、スライドショーを画面上に表示

➤ "デジタル掲示板再表示.bat"

なんらかの理由でスライドショー画面を閉じた場合に、再度スライドショーを開始するバッチファイルです。

➤ "デジタル掲示板作成・表示(BGM).bat"

上記の "デジタル掲示板作成・表示.bat" に、下記の (2) BGM 定時再生機能 を追加したバッチファイルです。

※ 上記バッチファイルは、同じファイル名を持つ PowerShell スクリプトを実行させるものです。これらのバッチファイルおよび PowerShell スクリプトとも、修正や削除は厳禁です。

より使いやすくするため、上記のバッチファイルのショートカットをデスクトップにおくとよいでしょう。ショートカットの作成方法は下記です。

✓ Windows10 では、バッチファイル上で右クリックし、表示メニューを[送る]⇒[デスクトップ (ショートカットを作成)]を左クリックする。

✓ Windows11 では、Shift キーを押しながらバッチファイル上で右クリックし、表示メニューを[送る] ⇒[デスクトップ (ショートカットを作成)]を左クリックする。

(2) BGM 定時再生

利用の有無にかかわらず、ライセンス取得後に使用可能となる機能です。

ただし、利用する場合は **Node.js** を利用者自身で公式サイト (<https://nodejs.org/ja>) からインストールしておいてください。以下の機能が利用可能になります。

➤ 1 日のうち指定した時刻（複数可）に、あらかじめ用意した音源（WAV ファイル）を表示装置のスピーカーで再生します。

➤ 再生時刻に流せる音源数は複数設定できます。

※ ある程度、JavaScript の知識を前提としますが、ライセンスをご購入いただくと、"Batch" フォルダ内に "BGM 処理カスタマイズ説明書" を同梱しますので参考にしてください。

6. その他

◇ シートの削除

【シート削除】ボタンを使用してください。ただし、【使用方法】、【作成指示】、【天気予報】、【週間天気予報】および【原紙】の各シートは削除禁止です。

◇ シートのコピー

【シートコピー】ボタンを使用してください。

コピー後のシートはシート名を変更しても構いません。

ただし、【使用方法】、【作成指示】、【天気予報】、【週間天気予報】および【原紙】の各シートはシート名を変更できません。

◇ シートの保護

本システムのシートは、すべてパスワードで保護しています。このパスワードは開示しません。ご了承ください。

◇ コマンドボタンの表示位置などの修正

Excel ウィンドウの最大化ボタンをクリックまたはシートの表示倍率を変更した場合、コマンドボタンの表示位置や大きさが反映されません。このときは、コマンドボタン以外の任意のセル位置でダブルクリックすれば修正されます。

◇ Windows の通知抑制の設定

スライドショー表示中における各種通知を抑制するため、下記の設定をおすすめします。

- 【スタートボタン】をクリックして【設定】（歯車のマーク）をクリック
- 【システム】をクリック
- Windows10 では【通知とアクション】、Windows11 では【通知】をクリック
- 通知 <アプリやその他の送信者からの通知を取得> をオフにする

◇ PC と外部ディスプレイ装置の接続

➤ 有線接続

PC と外部ディスプレイ装置を HDMI ケーブルで接続してください。

➤ 無線接続

Microsoft Wireless Display Adapter や Miracast デバイスなど様々な接続機器があります。前者での接続については、本システム作者が実施経験を持ち、問題ありませんでした。

ただし、PC と無線接続デバイスとの具体的な接続設定に関しては、本システムのサポート範囲外ですので、利用者がマニュアルなどを参考に実施してください。

➤ 外部ディスプレイ表示モードに関する Windows 側の設定

【複製】を用いるとよいでしょう。その設定方法は割愛します。

※ 本システム利用時の利便性向上のため、5. バッチファイルおよび BGM 定時再生を除き、以上と同一内容を本システム本体の Excel ブック内【使用方法】シートにも記載しています。

7. 使用上の条件

本システムは、下記条件に同意いただいた場合にのみ使用することができます。

◇ 著作権

本システムに関するプログラムおよびドキュメント等の著作権は、他者の著作物であることを明記しているものを除き、著作者が所有しています。

本システムは、日本国の著作権法、並びに国際条約により保護されています。

◇ 使用条件

本システムを企業等の商用利用に活用することは可能ですが、本システム自体を販売するなど、商用利用での利用は一切禁止します。

本システムのリバースエンジニアリング、プログラムの修正等は、著作者が許諾を明示しているものを除き、著作者が個別に認めない限り一切禁止します。

◇ 配布条件

本システム自体の料金を徴収する／しないにかかわらず、本システムの再配布は、一切禁止します。

◇ 免責

本システムの導入、設定ミスや、本システムの使用によって発生したいかなる損害等につきましても、著作者は一切の責任を負いません。

バグの修正やバージョンアップ等の一切のサポートの責は負いません。

以上の項目に同意いただけない場合は、直ちに使用を中止し本システムに関するすべてのものを破棄してください。

なお、本システムを使用した場合は、本同意事項の内容に同意したものとみなします。

8. 連絡先

本システムに関して、ご意見・ご質問・不具合発生時の連絡・改善要望・ご感想などがございましたら、下記メールアドレスまでメール送付いただくようお願いいたします。

メールアドレス：<evmtool@gmail.com>